

OB懇談会

イベント名「終わりの会で先輩のお話を聞く」

(実施補習校名：カンザスシティ補習授業校

実施年月日：2024年2月10日)

早稲田大学先進理工学部生命医科学科で学ぶ先輩がインターンのためカンザスシティに訪れた。全在校生と参加を希望した保護者の前で先輩として補習校の意義や自身の体験を話し、質問にも答えてくれた。

<実施者>

・全校生徒（幼稚部、小学部、中学部）、全教員、保護者

<参加したOBOG>

・早稲田大学先進理工学部生命医科学科で学ぶカンザスシティ補習校OB

計画ダイジェスト

2月

日	活動内容
4	OB訪問のニュースを受け、10日の8時45分からの15分間の朝の会を中止し、8時45分から授業を開始し、15分早く授業を終わらせて、11時45分から15分間終わりの会を設けて、OBの話を聞く提案をメールで全教員が受け、スケジュール変更に支障がないことを確認し、賛同する。保護者も参加できることになる。
9	金曜日の一斉メールで全保護者に連絡。
10	懇談会実施。

このOBは、中学生の時に、カンザスシティ補習授業校に数年通い、日本に帰国した。本校は、高等部がないこともあり、OBの体験を公に聞く機会は、今まで殆どなかった。特に駐在の保護者から日本に帰ってすぐに馴染めたか、どういう苦労があったか等の質問が活発になされた。短くも有益な懇談会となった。

ページ執筆者名：カンザスシティ補習授業校 浜田 佐知

OBOG パネルディスカッション

イベント名「AP とは : パネルディスカッション」

(実施補習校名 : ポート・オブ・サクラメント補習授業校 実施年月 : 23 年 8 月 5 日)

現地校の高校ではおなじみの「AP」(Advanced Placement) は、日本で教育を受けた保護者にはなじみがないので、その制度や取り方、試験の形式・内容などについて基本情報を保護者がまとめ、パネリストの現役高校生・大学生の元在校生たちに経験談を語ってもらった。

<実施者>

- ・ ポジティ部 (元理事長が部長を務める、ボランティア保護者グループ。古本市や保護者による講演会なども開催)

<参加した O B O G>

- ・ 右の日本・アメリカの現役大学生、高校生の元在校生 8 人。



計画

	活動内容
4 月	企画立案
5 月	開催日時検討。ポジティ部から教員に、AP や大学の話をしてくれる元在校生へ呼び掛け依頼。
6 月	8 月 5 日の、夏休み明け最初の授業日の放課後に開催決定。元在校生・保護者に連絡開始。
8 月	パネルディスカッション実施。当日飛び入り参加も含め、8 人の元在校生が集まった。
8 月	録画を配信。

ページ執筆者名 : ポート・オブ・サクラメント補習授業校
小 5 担任 藻谷 容子

高等部カリキュラム説明会

イベント名「補習校卒業生による高等部進学を悩んでいる中3生へアドバイス」

(実施補習校名：米国シカゴ補習授業校 実施年月：2023 年 11 月)

当時大学1年生の卒業生に ZOOM で高等部カリキュラム説明会に参加してもらい、高等部進学を迷っている中3生の背中を押してもらった。今やっておくべきこと、続けることの大変さと達成感など多くの有効なアドバイスを得る機会となった。



<実施者>

シカゴ補習校卒業生ウィスコンシン大学1年生、高3生徒会長、中3生徒、高等部教員

時	活動内容
1	卒業生に高等部主任より中3生へのアドバイス依頼し日程や資料などを確認
2	高等部生徒全員へ高等部進学を迷っている中3生へのアドバイス作文を書かせる。
3	説明会にて口頭でアドバイスをする生徒2人選出。残りはサマリーを資料に添付。
4	説明会実施 大学1年生卒業生、高3生徒会会長、高1一人 高2一人
5	説明会の振り返りと進学調査を中3生に依頼。

ページ執筆者名：シカゴ補習授業校 ダン奈津子

キャリア講演会

イベント名「 医療への道へ進んだ補習校卒業生による講演会 」

(実施補習校名: 米国シカゴ補習授業校 実施年月: 2023年2月)

米国日本人医師会の活動、日米医学部制度の違い・医療制度の違い、大学受験準備についてなど卒業生から高校生に多くのメッセージ・アドバイスをいただく有意義な講演会となった。



＜実施者＞

米国日本人医師会所属・カリフォルニア州日本語補習校あさひ学園卒業生

ラザック・永吉詠舞様 高等部生徒、高等部教員

時	活動内容
1	講演者より補習校の生徒たちに先輩として講演をしたいとの打診。
2	高等部主任が直接講演者と日程や資料などを確認。
3	役割分担: はじめの挨拶をする生徒。生徒代表としてお礼を述べる生徒
4	講話会実施
5	講話会の振り返りシートとお礼のメッセージを作成。詳細は別資料にて。

ページ執筆者名: シカゴ補習授業校 ダン奈津子

高等部カリキュラム説明会

イベント名「 補習校卒業生による高等部進学を悩んでいる中3生へアドバイス 」

(実施補習校名: 米国シカゴ補習授業校 実施年月: 2023年11月)

当時大学1年生である卒業生からZOOMにて高等部カリキュラム説明会に参加、高等部進学を迷っている中3生の背中を押してもらった。今やっておくべきこと、続けることの大変さと達成感など多くの有効なアドバイスをを得る機会となった。



<実施者>

シカゴ補習校卒業生 Wisconsin 大学1年生、高3生徒会長、中3生徒、高等部教員

時	活動内容
1	卒業生に高等部主任より中3生へのアドバイス依頼し日程や資料などを確認
2	高等部生徒全員へ高等部進学を迷っている中3生へのアドバイス作文を書かせる。
3	説明会にて口頭でアドバイスをする生徒2人選出。残りはサマリーを資料に添付。
4	説明会実施 大学1年生卒業生、高3生徒会会長、高1一人 高2一人
5	説明会の振り返りと進学調査を中3生に依頼。

ページ執筆者名: シカゴ補習授業校 ダン奈津子

パネルディスカッション

イベント名「ようこそ先輩」

(実施補習校名：ダラス補習授業校)

実施年月：2023 年 1 月)

Web 会議サービスを利用し、日本の大学に進学した先輩と 1 時間、直接話を聞くことができる時間を設けた。どのようなプロセスを経て日本の大学に入学したのか、その体験談を本人から直接聞くことにより、在校生が意識を持って自己実現を図るための一歩を踏み出せるきっかけを提供する。

<実施者> 高等部生徒、高等部教員

<参加したOB OG> ダラス補習校高等部に在籍した生徒 4 名

OG1 (2018 年 8 月~2020 年 3 月在籍) 早稲田大学法学部二年

OG2 (2021 年まで在籍 前生徒会会長) 慶応大学法学部一年

OB1 (2022 年卒) 早稲田大学政治経済学部一年 英語学位プログラム

OB2 (2017 年 6 月~2020 年 6 月在籍) 横浜市立大学国際教養学部一年

<計画ダイジェスト>

時期	内容
9-11 月	・企画立案（コンセプト・時期・対象者）及び承認 ・パネル選定一参加依頼/日程の確認
11 月	・スケジュール調整・パネリストに聞きたいこと一覧を渡す ・生徒会内で役割分担を決める
12 月	・当日の原稿とタイムラインの作成
1 月	・パネルディスカッション・お礼文お渡し

<パネリストへの質問・事前に答えを用意しておいてもらった>

- 1、志望動機+（何が決め手になったのか）
- 2、出願までの準備
- 3、受験で一番苦労したこと
- 4、その他：アドバイス、現在の生活等々（学校の様子。キャンパスライフ。学校の雰囲気。帰国生の人数。補習校や現地校でやっておくべきこと、やっておいてよかったこと）
- 5、9 月入学について（3 月卒業の可能性）（該当者のみ）
- 6、英語学位プログラムについて（該当者のみ）



<生徒からのフィードバック>

- ・自分の目標としている学校の在校生の方々から何に重点をおいて勉強したらいいのか、実際の経験談など詳しい話を聞いたことで自分の中での目標をイメージできた。残りの高校生活を有意義に過ごせるように努力したいと思う。
- ・みなさんの実体験を聞いたことで、帰国子女受験が少し身近に感じた。事前に準備しておくものや、英語系のテストの勉強法など詳しく教えてくれたことが参考になった。

<成果>

- ・生徒・保護者から来年もほかの大学に進学した生徒たちの話を聞く会を実施してほしい要望があった。
- ・参加した生徒から、自分が大学に進学したらパネリストになりたいと申し出があった。

ページ執筆者名：ダラス補習授業校 大橋 由貴

OB 講話会

イベント名「第一回講話会」

(実施補習校名：ダラス補習授業校

実施年月：2023 年 12 月)

高 1 国語表現 I [単元名：講演会を開こう] と進路指導と一体化を図った講話会に、ダラス補習校で学んだ先輩を招いて実施。先輩の話を聞き、各生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を高め、主体的に自己の 進路を選択していくための機会を提供する。

＜実施者＞ 高等部生徒、高等部教員

＜参加した O B O G＞ ダラス補習校卒業生で現在保護者でもある歯科医師

＜計画ダイジェスト＞

事前準備（教員—講話者）

事前準備（教員—生徒）

時期	内容
4 - 6 月	企画立案（コンセプト・時期・対象者）及び承認
5 - 7 月	講演依頼、日程確認
11 月	スケジュール調整・生徒からの依頼文、質問事項のお渡し
12 月	講話会・生徒からのお礼文お渡し

配当	授業毎のねらい
1	進路意識調査：講話会の目的と概要を知る。
1	依頼文やお礼文を文章で出す場合の形式などを知り、相手や目的に応じて、表現を工夫して実際に書く。
1	講話会に向けての係分担を決める。
1	講話会準備/リハーサル：講演会の流れを理解し各自の考えをもって参加させる。
2	講話会実施：社会人とのコミュニケーションの仕方を身につける。講演を積極的に聴き、理解し、質問をする力を身につける。
1	事後活動：お礼文の作成・まとめ・自己評価をする。記録をとり、事後に残す過程について学習する。

＜生徒からの多かった質問＞

- ・ 歯科医師を目指すことを決めた年齢
- ・ アメリカの大学に進むことにした理由。
- ・ 歯科医師の仕事のやりがい。

＜講話会実施後の生徒からのフィードバック＞

- ・ 同じ補習校出身の先輩からの話は参考になった。
- ・ 現在、進路に迷っているが、大学に入ってから本格的に歯科医師を目指されたと伺い、少しほっとした。
- ・ 「アメリカの大学を選ぶか日本の大学を選ぶかは、自分にとって何が一番大切かを考えること」というメッセージが新鮮でとても参考になった。
- ・ 歯科医師の仕事として、歯並びを直すことによって人の人生を変えられる（コンプレックスをなくしてあげられる）という発想が新しい学びだった。

＜成果＞

- ・ 生徒は自分たちの会だという自覚と責任をもって最後まで活動でき、役割を全うしたことで満足感を得られ充実した学習の場となった
- ・ 保護者からも子供たちにとって良い学びになり、来年度も実施してほしいと要望があった。
- ・ 参加教員からもよい学びの場となったと評価を得て、来年度も同様な形式での実施を年次計画に組み込むことになった。

